

特色

一度理解したことがらでも、その後の反復練習がなければ確実に身につけることはできません。

この問題集は、みなさんが、教科書や参考書で学んだことがらをさらに確実に身につけることができるように工夫、編集されています。

単元の構成

中学1年の学習領域を中心とした24単元に分け、さらに学習内容を細かく限定し、各問題は難易度順に配列、構成されています。

目次

| | | | |
|---------------|----|-----------------|-----|
| 1 正負の数の意味 | 2 | 13 不等式の応用 | 60 |
| 2 正負の数の加減 | 6 | 14 関数とグラフ | 64 |
| 3 正負の数の乗除 | 10 | 15 座標平面 | 66 |
| 4 正負の数の四則計算 | 14 | 16 比例とそのグラフ | 70 |
| 5 整数の性質 | 20 | 17 反比例とそのグラフ | 75 |
| 6 文字式の作り方 | 24 | 18 基本の図形 | 82 |
| 7 文字式の計算 | 30 | 19 点の集合 | 88 |
| 8 関係を表す式 | 36 | 20 図形の移動 | 93 |
| 9 方程式 | 40 | 21 空間の図形 | 98 |
| 10 方程式の応用 (1) | 44 | 22 いろいろな立体とその見方 | 102 |
| 11 方程式の応用 (2) | 50 | 23 立体の体積、表面積と切断 | 108 |
| 12 不等式の解法 | 56 | 24 データの活用 | 115 |

1

正負の数の意味

1 次の数を+, -をつけて表しなさい。

口算練習

月 日

- (1) 0より5大きい数 (2) 0より3小さい数 (3) 0より1.7小さい数
 (4) 1より0.05小さい数 (5) 1より $\frac{2}{3}$ 大きい数 (6) 1より $\frac{7}{5}$ 小さい数

2 次の問いに答えなさい。

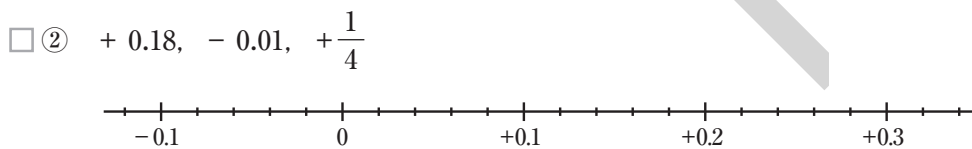
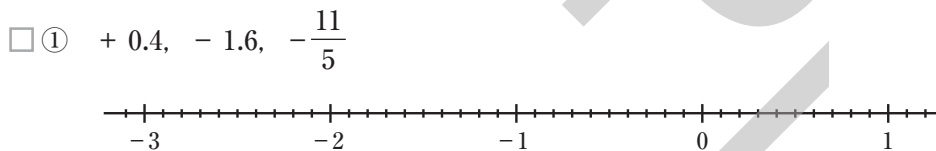
口算練習

月 日

(1) 次のそれぞれの数直線で、点A～Eに対応する数を答えなさい。



(2) 次の数に対応する点を、下のそれぞれの数直線に示しなさい。



3 次の数を小さい順に不等号で表しなさい。

口算練習

月 日

- (1) $+7, -7, +2, -2$ (2) $-6, +5, -4, +3, -\frac{16}{3}$
 (3) $-3.2, 2.8, -1.6, 0.4, -0.7$ (4) $-3, -\frac{17}{5}, -\frac{17}{4}, 2.5, \frac{17}{7}$
 (5) $0.5, -0.8, 0, -0.3, -\frac{5}{8}, 0.25$

4 次のような数を、それぞれすべて答えなさい。

学
習
日

月 日

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

5 次の問いに答えなさい。

学
習
日

月 日

(1) 数直線上で、 -9 から $+6$ までの距離を求めなさい。

(2) 絶対値が7以下の整数のうち、最も大きいものを求めなさい。

(3) 絶対値が13より小さい整数のうち、最も小さいものを求めなさい。

(4) 負の数で絶対値が5.3より小さい整数を、すべて求めなさい。

(5) 絶対値が $\frac{59}{9}$ に最も近い負の整数を求めなさい。

(6) 3との差が7である2数を求めなさい。

(7) 絶対値が等しく差が5である2数を求めなさい。

6 $+0.2$, -1.24 , $+\frac{3}{2}$, 0 , $-\frac{5}{4}$, $+1.8$, -1.5 について、次の問いに答えなさい。

学
習
日

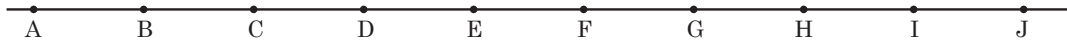
月 日

(1) 小さい順に不等号で表しなさい。

(2) 絶対値が最も小さい数と大きい数を、それぞれ求めなさい。

(3) 絶対値が等しい数は、どれとどれか。

- * 7 次の図は、数直線上に点 A から順に等間隔に 10 個の点 A ~ J をとったものである。これについてあとの問いに答えなさい。



- (1) 点 A に対応する数が -9 、点 E に対応する数が $+3$ であるとき、次の①、②に答えなさい。
- ① 原点を表す点を求めなさい。 ② 絶対値の等しい数は、全部で何組あるか。
- (2) 点 D に対応する数が -0.3 、点 E に対応する数が $+0.2$ であるとき、次の①、②に答えなさい。
- ① 点 A ~ J のうち、絶対値が最大になる点に対応する数を求めなさい。
- ② 点 A ~ J のうち、絶対値が 1 以上 2 未満の範囲にある点をすべて求め、記号で答えなさい。

- 8 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の数量を、正負の数を使って表しなさい。
- ① A 地から北へ 1km の地点を $+1$ km とするとき、A 地から南へ 7km の地点
- ② 1000 円の収入を $+1000$ 円とするとき、5600 円の支出
- ③ 体重が 1kg 減ることを -1 kg とするとき、体重が 3.2kg 増えたこと
- (2) 次の数値を基準にしたとき、あとの数値を正負の数を使って表しなさい。
- ① 基準 82 点 100 点, 95 点, 61 点, 82 点, 59 点
- ② 基準 21°C 20°C , 30°C , 3°C , -5°C , -12°C
- ③ 基準 -5°C 0°C , 3°C , -7°C , 1.5°C , -12.3°C

* 9 次の問いに答えなさい。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24

(1) 次の表の A ~ G の 7 人の生徒の身長を 155 cm を基準として正負の数を使って表しなさい。

| | | | | | | | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生徒 | A | B | C | D | E | F | G |
| 身長 | 157.5 | 148.0 | 152.3 | 160.1 | 155.0 | 165.0 | 154.7 |

(単位 cm)

(2) 次の表は、1 回から 6 回までの A のテストの得点と、A の目標得点である 72 点との違いを表している。空欄にあてはまる数を求めなさい。

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 回数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 得点 | 64 | | 60 | | 74 | |
| 違い | | +5 | | -6 | | +8 |

(単位 点)

(3) 次の表は、A ~ H の 8 人の生徒の体重を、前の生徒と比べた結果を記入したものである。A の体重が 45.3 kg、H の体重が 48.7 kg のとき、あとの①~③に答えなさい。

| | | | | | | | | |
|----|---|------|------|------|------|------|---|------|
| 生徒 | A | B | C | D | E | F | G | H |
| 違い | | -2.2 | +7.5 | -3.8 | -1.4 | +4.1 | | +2.8 |

(単位 kg)

① B の体重を求めなさい。

② G の体重を求めなさい。

③ 表の空欄にあてはまる数を求めなさい。

(4) 次の表は、ある日の各地の最高気温を表したもので、() の中の数字は前日との差を表している。これについてあとの①、②に答えなさい。

| | | | | | | | | | |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 都市 | 札幌 | 秋田 | 仙台 | 東京 | 金沢 | 大阪 | 高知 | 福岡 | 那覇 |
| 気温 | 8(+3) | 12(+2) | 14(-1) | 19(+3) | 16(-1) | 20(-2) | 22(+1) | 20(-5) | 25(-3) |

(単位 °C)

① 札幌の前日の最高気温は何度か。

② 前日の最高気温が 3 番目に高かったのはどこか。

2

正負の数の加減

1 次の計算をなさい。

算
口
算

月 日

(1) $(+1) + (+3)$

(2) $(+4) + (+9)$

(3) $(+5) + (+5)$

(4) $(-7) + (-2)$

(5) $(-8) + (-1)$

(6) $(-6) + (-6)$

(7) $(+4) + 0$

(8) $(-7) + 0$

(9) $0 + (-5)$

(10) $(+18) + (+16)$

(11) $(-21) + (-35)$

(12) $(-56) + (-78)$

2 次の計算をなさい。

算
口
算

月 日

(1) $(+3) + (-5)$

(2) $(+7) + (-5)$

(3) $(-9) + (+4)$

(4) $(-8) + (+5)$

(5) $(-6) + (+7)$

(6) $(+6) + (-7)$

(7) $(-6) + (+6)$

(8) $(+7) + (-7)$

(9) $(-3) + (+3)$

(10) $(+13) + (-19)$

(11) $(-27) + (+28)$

(12) $(-71) + (+59)$

3 次の計算をなさい。

算
口
算

月 日

(1) $(+7) - (+5)$

(2) $(-5) - (+4)$

(3) $(+8) - (-9)$

(4) $(-3) - (+3)$

(5) $(+7) - (-7)$

(6) $(-2) - (-2)$

(7) $(+4) - 0$

(8) $(-5) - 0$

(9) $0 - (-7)$

(10) $(-14) - (+15)$

(11) $(+36) - (-29)$

(12) $(-54) - (-77)$

4 次の計算をなさい。

算
口

月 日

(1) $(+6) + (+5) + (-7)$

(2) $(-8) + (+2) - (-3)$

(3) $(+1) - (+8) + (-9)$

(4) $(+8) - (+2) - (-6)$

(5) $(-3) - (-7) - (+9)$

(6) $(-7) - (-3) - (-4)$

5 次の問いに答えなさい。

算
口

月 日

(1) 次の式をカッコのない式で表しなさい。

① $(+8) + (+3)$

② $(+3) + (-9)$

③ $(-7) - (-7)$

④ $(+6) + (+7) - (+8)$

⑤ $(+2) + (-3) + (-5)$

(2) 次の計算をなさい。

① $6 + 7$

② $3 - 5$

③ $-2 - 8$

④ $7 - 9 - 10$

⑤ $-9 + 5 - 12$

(3) 次の式をカッコのない式で表し、左から順に計算しなさい。

① $(+7) + (-5) + (+9) + (-8)$

② $(-6) + (+8) + (+4) - (-9)$

③ $(-3) + (-7) - (+3) + (-4) - (+5)$

④ $(-5) - (+6) - (+7) + (+9) - (-2)$

⑤ $-(-1) + (-6) - (-9) - (-5) - (+4) + (-3)$

⑥ $(-23) - (-52) + (-8) - (+19) + (-7) + (+5)$

⑦ $(+89) + (-9) - (-61) - (+35) + (-11) - (-5)$

6 次の問いに答えなさい。

□(1) 正の数どうし負の数どうしをまとめて、次の計算をなさい。

□① $(+4) + (-3) + (-7) + (+2)$

□② $(-6) + (-9) + (+3) + (-5)$

□③ $(+1) + (-4) + (-2) + (+8) + (+7)$

□④ $(-3) + (+6) + (-8) + (-9) + (+5)$

□(2) 式の項の正負でまとめて、次の計算をなさい。

□① $-7 + 2 - 1 + 3 - 9$

□② $8 - 9 - 3 - 6 + 5$

□③ $-8 + 6 - 5 + 3 - 7 - 8$

□④ $9 - 2 - 6 - 5 - 7 + 1$

□(3) 次の式をカッコのない式で表し、式の項の正負でまとめて計算しなさい。

□① $(+7) + (-5) - (+9) + (-8)$

□② $(-9) - (+8) + (+4) - (-6)$

□③ $(-3) - (+7) + (-4) - (-5) + (+6) - (-9)$

□④ $(+5) + (-1) - (-6) - (+4) - (-8) + (-2)$

□⑤ $-(-3) + (-4) - (+7) + (-5) - (-12) - (+8)$

7 次の問いに答えなさい。

□(1) 次の計算をなさい。

□① $-1.5 - 3.8$

□② $-2.15 + 5.25$

□③ $0.72 - 3.53$

□④ $-9 + 4.55 - 7.1$

□⑤ $2.12 - 4 - 0.24 - 2.88$

□(2) 次の計算をなさい。

□① $\frac{2}{3} - \frac{5}{3}$

□② $-\frac{2}{3} + \frac{1}{4}$

□③ $-\frac{3}{2} - \frac{5}{6}$

□④ $-3 - \frac{5}{6} + \frac{17}{4}$

□⑤ $\frac{7}{9} - 2 - \frac{1}{3} + \frac{5}{9}$

* 8 次の計算をなさい。

月 日

(1) $-14 - (7 - 4)$

(2) $19 - (8 - 11)$

(3) $-3 - 12 + (8 - 21)$

(4) $-25 - 14 - (30 - 14)$

(5) $16 - (-7) + (13 - 22 - 9)$

(6) $9 - (15 + 27 - 31) - (-6)$

(7) $5 - \{- (14 - 23) + 17\} - 6$

(8) $(8 - 16 - 25) - \{-1 + 20 - (19 - 21)\}$

* 9 次の問いに答えなさい。

月 日

(1) 次の表は、東へ1km進むことを+1km、西へ1km進むことを-1kmとして、ある人が、A地点を出発してから進んでいった様子を表している。これについてあとの①～③に答えなさい。

| 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 |
|------|-----|-----|------|-----|------|------|
| -3.5 | +4 | -5 | +4.5 | -3 | +1.8 | -4.2 |

(単位 km)

① 2回目に着いた地点は、A地点からどちらへ何km進んだ地点か。

② 最後に着いた地点は、A地点からどちらへ何km進んだ地点か。

③ この人は、全部で何km進んだことになるか。

(2) 次の表は、A～Eの5人の生徒の体重が、クラスの平均体重より重いか軽いかを、正負の数を使って表したものである。クラスの平均体重が43.2kgのとき、あとの①～③に答えなさい。

| 生徒 | A | B | C | D | E |
|---------|------|------|------|------|------|
| 平均体重との差 | -3.5 | -2.6 | +5.4 | +1.3 | -1.6 |

(単位 kg)

① Aの体重は何kgか。

② 最も体重の重い生徒と、最も軽い生徒との差は何kgか。

③ この5人の生徒の体重の平均は、クラスの平均体重と比べて、
ア 重い イ 等しい ウ 軽い のどれか。

1 次の問いに答えなさい。

口算
筆算

月 日

- (1) 1個120円のりんごを何個かと、1個25円のみかんを1ダース買ったところ、合計代金は900円であった。りんごは何個買ったか。
- (2) 同じノートを6冊買って1000円出したところ、280円のおつりがきた。このノート1冊の値段は何円か。
- (3) 1本100円のボールペンと1本80円のボールペンを合わせて13本買ったところ、合計代金は1160円であった。1本80円のボールペンは何本買ったか。
- (4) 1本30円の鉛筆と1本80円の色鉛筆を買った。鉛筆の方を色鉛筆よりも10本多く買ったが、鉛筆の代金と色鉛筆の代金は同じであった。色鉛筆は何本買ったか。
- (5) 3000円持ってゲームセンターに行き、A、B2種類のゲーム機で遊んだ。Aの料金は1回50円、Bの料金は1回200円である。Aのゲーム機でBよりも7回多く遊んだところ、900円残った。Aのゲーム機で何回遊んだか。

2 次の問いに答えなさい。

口算
筆算

月 日

- (1) ある数の3倍に5を加えると50になる。ある数を求めなさい。
- (2) ある数の4倍から12をひいた差は、105からはじめの数の5倍をひいた差に等しいという。ある数を求めなさい。
- (3) ある数と3との和の2倍は、はじめの数の5倍に等しいという。ある数を求めなさい。
- (4) ある数の $\frac{1}{3}$ は、はじめの数の $\frac{1}{5}$ から2をひいた差に等しいという。ある数を求めなさい。
- (5) ある数の2倍から6をひいた差は、はじめの数から3をひいた差の $\frac{1}{4}$ に等しいという。ある数を求めなさい。

3 次の問いに答えなさい。

算
問
口

月 日

- (1) 連続する2つの整数の和が31であるとき、この2つの整数を求めなさい。
- (2) 連続する3つの整数の和が186であるとき、これら3つの整数を求めなさい。
- (3) 連続する3つの偶数の和が252であるとき、これら3つの偶数を求めなさい。
- (4) 1100を連続する5つの整数の和で表すとき、最小の整数を答えなさい。

4 次の問いに答えなさい。

算
問
口

月 日

- (1) 一の位の数字が8である2けたの正の整数がある。この数の十の位と一の位の数字を逆にした数は、もとの数の3倍より2小さいという。もとの数を求めなさい。
- (2) 一の位の数字が1である2けたの正の整数がある。この数の十の位と一の位の数字を逆にした数の4倍は、もとの数より3大きいという。もとの数を求めなさい。
- (3) 十の位と一の位の数字の和が14である2けたの正の整数がある。この数の十の位と一の位の数字を逆にした数は、もとの数より18小さいという。これについて次の①、②に答えなさい。
 - ① もとの数の十の位の数字を x として、十の位と一の位の数字を逆にした数を x で表しなさい。
 - ② もとの数を求めなさい。
- (4) 一の位の数字が十の位の数字の2倍より1大きい2けたの整数がある。この数の十の位と一の位の数字を入れかえた数は、もとの数の3倍より38小さいという。もとの数を求めなさい。
- (5) 千の位が2であるような4けたの自然数がある。千の位の数字を一の位に移し、残りの位の数字をそのまま1けたずつ左にずらしてできる自然数は、もとの自然数の2倍よりも290大きいという。これについて、次の①、②に答えなさい。
 - ① もとの自然数の百の位以下の数を x として、 x についての方程式をつくりなさい。
 - ② もとの自然数を求めなさい。

5 次の問いに答えなさい。

学
習
日
記

月 日

- (1) 兄と弟がおじさんから合わせて2700円のおこづかいをもらった。兄のもらった金額は弟より300円多いという。兄は何円もらったか。
- (2) 体育祭の準備のために、1年1組の生徒全員にA、B2つのグループに分かれるように言ったところ、Aのグループは21人、Bのグループは17人になった。2つのグループの人数を等しくするには、AのグループからBのグループに何人移ればよいか。
- (3) 雑木林に姉と妹がドングリをひろいに行った。姉は75個、妹は63個ひろったが、姉が妹に何個かあげたので、妹の個数は姉より4個多くなった。姉が妹にあげたドングリの個数を求めなさい。

* 6 次の問いに答えなさい。

学
習
日
記

月 日

- (1) 何人かの生徒にノートを配るのに、1人に3冊ずつ配るとすれば4冊余り、1人に4冊ずつ配るとすれば13冊不足する。これについて次の①～③に答えなさい。
- ① 生徒の人数を x 人として、方程式を立てなさい。
- ② ノートの冊数を x 冊として、方程式を立てなさい。
- ③ 生徒の人数とノートの冊数を求めなさい。
- (2) 鉛筆を20本買う予定で文房具店に行ったが、20本買うには所持金では100円足りないので、18本買ったところ、60円余った。このときの所持金を求めなさい。
- (3) 体育館に生徒を入れるのに、長椅子1脚に3人ずつかけさせると27人が余り、4人ずつかけさせると、長椅子がちょうど2脚余った。これについて次の①、②に答えなさい。
- ① 長椅子の脚数を x 脚として、方程式を立てなさい。
- ② 長椅子の脚数と生徒の人数を求めなさい。
- (4) みかんを子供1人に8個ずつ分けていくと、残り5人のところでみかんは3個だけになる。また、1人に6個ずつ分けていくと全員に分けることができ31個余る。子供の人数とみかんの個数を求めなさい。

7 次の問いに答えなさい。

学
習
日
記

月 日

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

(1) 長さ2mの針金を2つに切り、長い方の針金の長さを短い方の2倍より20cm長くなるようにしたい。長い方の針金の長さを何cmにすればよいか。

(2) 90枚の色紙を適当に2つに分けたところ、一方の枚数が他方の2倍より3枚少なくなった。色紙を何枚と何枚に分けたか。

(3) A君、B君、C君の3人は記念切手を合わせて80枚持っている。B君の枚数はA君の3倍より5枚少なく、C君の枚数はB君より6枚多いという。これについて次の①、②に答えなさい。

① A君の記念切手の枚数を x 枚として、B君、C君の枚数を x で表しなさい。

② 3人の持っている記念切手の枚数を、それぞれ求めなさい。

8 次の問いに答えなさい。

学
習
日
記

月 日

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

(1) 現在、けい子さんは11歳、父は39歳である。これについて次の①、②に答えなさい。

① 父の年齢がけい子さんの年齢の3倍になるのは、今から何年後か、または、何年前か。

② 父の年齢がけい子さんの年齢の5倍になるのは、今から何年後か、または、何年前か。

(2) 現在、たかし君は12歳、母は38歳である。母の年齢がたかし君の年齢の2倍より1歳少ない年齢になるのは、今から何年後か。

(3) 現在、父の年齢は子供の年齢の4倍である。また、2年前は、父の年齢は子供の年齢の5倍であった。これについて次の①、②に答えなさい。

① 現在の子供の年齢を x 歳として、方程式を立てなさい。

② 父と子供の現在の年齢を求めなさい。

(4) 現在、父と母の年齢は、それぞれ50歳と48歳で、子供2人の年齢は、19歳と14歳である。これについて次の①、②に答えなさい。

① 父母の年齢の和が子供2人の年齢の和の2倍になるのは、今から何年後か。

② 父母の年齢の和が子供2人の年齢の和の6倍になるのは、いつか。

* 9 次の問いに答えなさい。

- (1) A君は1500円、B君は1200円のお金を持っている。これについて次の①、②に答えなさい。
- ① 2人が x 円ずつ使うと、A君の残金はB君の2倍になる。 x の値を求めなさい。
- ② 2人が同じ値段の本を買ったところ、A君の残金はB君の3倍より100円少なくなった。この本の値段を求めなさい。
- (2) 現在、兄には3600円、弟には1000円の貯金がある。来月から、兄は毎月450円ずつ、弟は毎月100円ずつ貯金をしていく。これについて次の①、②に答えなさい。
- ① 兄の貯金額が弟の貯金額の4倍になるのは、今から何か月後か。
- ② 兄の貯金額が弟の貯金額の5倍をこえることはあるか、ないか。
- (3) 現在、A君には2300円、B君には4300円の貯金がある。来月から、A君は毎月300円ずつ貯金をし、B君は毎月200円ずつ使っていく。これについて次の①、②に答えなさい。
- ① A君の貯金額がB君の貯金額と等しくなるのは、今から何か月後か。
- ② A君の貯金額がB君の貯金額の5倍を初めてこえるのは、今から何か月後か。

* 10 次の問いに答えなさい。

- (1) A, B, C, Dの4人の身長は平均148.5cmで、これにEを加えた5人の平均は150.8cmになるという。Eの身長を求めなさい。
- (2) 男女合わせて40人のクラスで、体重を測ったところ、男子の平均は39.5kg、女子の平均は37.5kg、クラス全体の平均は38.7kgであった。男子と女子の人数を、それぞれ求めなさい。
- (3) A, B, Cの3人のテストの得点を調べたところ、AとBの平均点はCの得点よりも6点高く、3人の平均点は80点であった。これについて次の①、②に答えなさい。
- ① Cの得点を求めなさい。
- ② さらに、D, Eの2人を含めると、5人の平均点は83.6点になるという。DがEより6点高いとき、Dの得点を求めなさい。

11 ある動物園の入園料は、大人 400 円、子供 250 円であるが、10 人以上の団体については、10 人を越えた分について、大人、子供とも 1 人あたり 50 円ずつ割引になる。ある団体が入園したところ、入園料の合計は 6600 円であった。この団体の子供の人数は大人の人数の 3 倍より 2 人多かったそうである。これについて次の問いに答えなさい。

- (1) 大人の人数を x 人として、方程式をつくりなさい。
- (2) この団体の人数は、大人と子供を合わせて何人か。

12 まさお君は、現在の貯金に対して、1 年間に 1500 円使って残った貯金額を 2 倍に増すということを 3 年間くり返すと、3 年後には現在の貯金額の 5 倍になる、ということに気がついた。これについて次の問いに答えなさい。

- (1) 現在の貯金額を x 円とするとき、1 年後の貯金額と 2 年後の貯金額をそれぞれ x で表しなさい。
- (2) 現在の貯金額を求めなさい。

13 ある文房具店で 2 種類の画用紙 A, B が売られている。画用紙 A は 1 枚 70 円である。画用紙 B は、5 枚までの値段が 600 円であり、6 枚目からは 1 枚 60 円になり、さらに代金が 1500 円を超えると、超えた分について 1 枚 50 円になる。これについて次の問いに答えなさい。

- (1) 画用紙 A, B を 12 枚ずつ買ったとき、それぞれの代金を求めなさい。
- (2) 画用紙 B の代金が 1500 円になるのは、何枚買ったときか。
- (3) 画用紙 A, B を x 枚ずつ買ったところ、それぞれの代金が等しくなった。これについて次の①, ②に答えなさい。
- ① 等しい代金を、 x の式で 2 通り表しなさい。
- ② x の値と代金をそれぞれ求めなさい。